



# 九条の会

「九条の会」奈良事務局  
九条の会県ネット運営委員会  
発行責任者 佐川愛子  
✉ [sagawami@m3.kcn.ne.jp](mailto:sagawami@m3.kcn.ne.jp)  
☎ 090-9885-9756  
2016年11月12日発行  
2号

新たな前進めざし9月25日に第6回全国交流討論会集会が開かれました。

国会の衆参両院で3分の2の議席を改憲勢力が占める中、憲法九条を生かしていくのか、それとも、明文改憲する方向に行くのか、九条の会の役割が重要な意味を持っています。新しいまさに国民総がかりの運動を展開していくうえで、九条の会の運動をより強化、発展させていくために、新たな世話人会が発足しました。

## 世話人会

愛敬 浩二	名古屋大教授、憲法学	浅倉 むつ子	早稲田大教授、労働法
池内 了	名古屋大学名誉教授、宇宙物理学	池田 香代子	ドイツ文学翻訳家
伊藤 真	日弁連憲法問題委員会副委員長	伊藤 千尋	元朝日新聞記者
内橋 克人	経済評論家	清水 雅彦	日本体育大教授、憲法学
高遠 菜穂子	ボランティア活動家	高良 鉄美	琉球大教授、憲法学
田中 優子	法政大総長、江戸文化研究者	山内 敏弘	一橋大名誉教授、憲法学

## 「おきなわに耳を澄ますつどい！」ピジョン倶楽部主催講演会が行われました



10月8日2時から奈良市西部公民館において「おきなわに耳を澄ますつどい！」という演題で当銘壽夫（とうまひさお）琉球新報社記者による講演が行われ、60名の市民が参加しました。

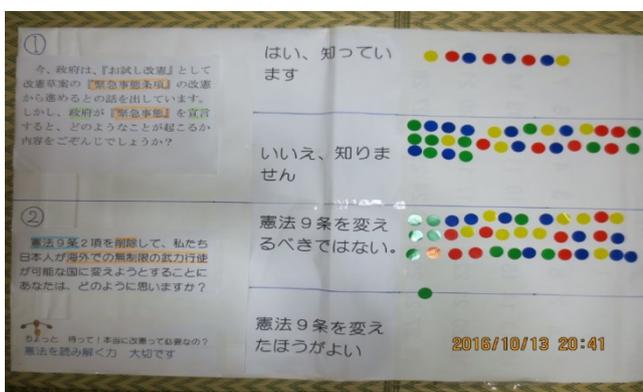
- 1、辺野古問題はどうなっていくか
  - 2、高江で何が起きているか
  - 3、奈良県で何ができるか
- について学習、交流をしました。

「仲井真氏が2011,11,26 辺野古基地県外移設をきっかけ再選されたにもかかわらず、公約違反の辺野古移転を承認、沖縄県政史上初の基地のための土地提供が。翁長氏が仲井真氏に圧勝。衆議院選挙でも辺野古新基地反対の候補が全員勝利。福岡高裁判決で県側が敗訴しましたが、知事権限でも本体工事の設計変更の承認、県外からの土砂搬入に対する中止勧告など残されており、今後の運動に引き継がれる」と述べ、高江問題については「1996年SACO（さこー）合意で米軍の北部訓練場 約7800ヘクタールのうち4000ヘクタールの返還とヘリパッド7つを残る訓練場に移設することで合意。しかし、オスプレイの飛来による睡眠障害等の騒音被害に加え、さらに高江地区周辺にヘリパッドが集中されるため住民が反対。機動隊500人、全国の警察3000人配置など、強行に進められている実態」を述べました。奈良県で出来ることは①沖縄で何が起きているのか知ること②知ったことを周辺に発信すること③許せないと思ったら声をあげることと沖縄だけの問題とはせず、私たちの問題としてとらえることの重要性にふれました。

## 香芝九条の会と戦争法 STOP 香芝共同センターが、「香芝憲法セミナー」を開催

憲法公布から 70 年目の 11 月 3 日、香芝市ふたかみ文化センターに 73 人が参加。九条の会代表世話人の寺沢達夫弁護士が「宮尾弁護士の講演を聞いてたっぷり勉強し、ママの会福田さんからエネルギーをもらい明日からも頑張りたい」と挨拶。奈良弁護士会の宮尾耕二弁護士が「憲法は、今一絵本と歴史と草案から考える」と題して講演を行いました。宮尾氏は、憲法が分かりやすい「憲法って、何だろう?」という絵本をテキストを使いながら、立憲主義の誕生と憲法成立の歴史や日本国憲法と自民党の「改憲草案」との違いなどを説明。国会で改憲勢力が 3 分の 2 の議席を得ている状況のもと「いま一度憲法についてしっかり勉強してほしい」と訴えました。先の参院選で野党統一候補であった元参院議員の前川清成弁護士が駆けつけ連帯のあいさつを行い、繋(つな)ぎ結ぶママたちの会の福田美保さんが「私たちは、この素晴らしい憲法を、平和を守りたいと思っています」と話しました。なお、香芝市議会で「憲法違反の安保法制に反対する意見書」を提出した市議、民進党前県議も参加しました。50 代の女性は講演や報告を聞き、「将来の日本を考えて今、声を上げるときでしょう」と感想を寄せていました。

### 平城ニュータウン九条の会街宣行動



10 月 9 日、15 時半から 1 時間、高の原駅前前で早苗ネネのサヨナラ戦争の音楽で、街宣、チラシ配布、戦争法反対 2000 万署名、シール投票を行いました。13 名が参加。30 筆の署名を集めました。シール投票参加者 38 名中、緊急事態法を知らないと答えた人が 30 名、九条を守っていくべきと答えた人が 37 名、一人が判らないと答えました。若い人達が結構参加してくれました。



### 市民連合みえと参院選挙

講師：高山 進 (市民連合みえ呼びかけ人)

10 月 27 日 於：やまと郡山城ホール

高山氏は「昨年 9 月の国会前集会に参加。大きな刺激をばねに今年 4 月から市民連合みえにかかわる。この 1 年間日本国憲法の本質を学んだシールズのシュプレヒコール『立憲主義ってなんだ』の答えがようやく見えてきた」と述べ市民連合みえの経過と教訓にふれました。4 月市民連合みえが発足。野党共闘を促す緩衝材、接着剤の役割をと、賛同者、団体候補リストアップ。ツイッター、フェイスブック、ラインを整備。6 月の時点で野党共闘はなかなかすすまなかったが、参加型選挙の説明と意見交換会、懇親会で人間的信頼関係を築き市民連合を中心にブリッジ共闘がすすめられ、(今は不完全だが)「市民どうしの共闘が進めば、政党どうしの違いは乗り越えられる。主権者たる私達の強い意志さえあれば政党は必ずそれに答える。市民が政治選挙を変える」(シールズのスローガン)「市民が主人公」という言葉を一貫して用いた取り組みが紹介されました。最後にシールズから学んだこととして「①憲法の本質を学び、自分達名もない国民が主権者なのだから心の底から湧き出す自分の言葉でスピーチをする。②運動は身内で固まるのではなく外にどう届くかが大事。そのために見せ方、発信の仕方を工夫。」など。そうした若者の姿に共感し、運動を進めてきたと述べられました。

平城ニュータウン 9 条の会主催 憲法カフェ

講演 宮尾 耕二弁護士 「集団的自衛権の危険性」

日時；2017 年 1 月 29 日 (日) 13:30~16:30

場所；北部会館 (予定)

「太平門 消えた 1300 人」映画上映と監督のお話

日時；2016 年 12 月 18 日 (日) 13:30

場所；生駒セイセイビル・文化ホール

参加費 500 円

上映実行委員会 TEL/FAX 0743-76-8788